

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------|-----|----------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス アミスター | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 7年 2月 20日 | | ～ 令和 7年 3月 10日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 10人 | (回答者数) 10人 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 7年 2月 20日 | | ～ 令和 7年 3月 10日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 4人 | (回答者数) 4人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 7年 3月 14日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 複合型福祉施設(インクルーシブな環境)の中で多くの 人との関わりや活動ができる。 | 併設されている学童の子どもたちとの関わりが持てる活 動を、日々のプログラムに取り入れている。集団活動 を通してお互いを認め合い、受け入れ相手の立場を考 えて行動できるようになり、助け合い、自分と気の合う人 を見つけて安定した関係を築いていけるように支援して います。 | これまで以上に充実させられるように検討する。 |
| 2 | 苦手なことにも挑戦し、成功体験を増やして自信へと繋 がっていけるようにしている。 | 畑遊びやリズム遊び、レクリエーション、運動遊び、ワ ーク、個別活動などを通して幅広い活動の提供を行って いる。その中で「やってみたい」と思える活動に挑戦し、 できることややってみたいことを増やしている。子ども たちの「やってみたい」を実現できるよう、立案・計画を 一緒に行う機会も作っている。 | 保護者や利用者本人のニーズに合った支援内容をこ れまで以上に充実させられるように検討する。 |
| 3 | 見て、触って、味わうことで本来の意味を深く知ること に繋がる食育を行っている。 | 「食に関する正しい知識」「望ましい食習慣」「すべての 人、物への感謝の気持ち」などを育みながら味噌づくり や畑で野菜の栽培収穫、経節削り、米の苗植え体験な どを行い、子どもたちが食に関心を持てるようにしてい る。自分で作った食材で作られた野菜や味噌を毎日 のおやつ(みそ汁・おにぎり)で食べて、より関心を引き 出している。 | 継続して支援していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|------------------------|---|
| 1 | 保護者同士の交流の機会が、あまり設けられなかった。 | VIDAサロンを開催できた回数が少なかった。 | 年間計画作成時にVIDAサロン実施時期を確定し、保 護者が参加できるよう見直しを持てるようにしていく。定 期的な開催を目標とし、保護者が参加しやすいプロ グラム設定をしていく。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |